

アップデート情報のご紹介
～2026年11月ver.～

クラスメソッド株式会社

東京ヴェルディとのユニフォームパートナー契約を継続

クラスメソッドは、東京ヴェルディとのユニフォームパートナー契約を継続いたします。
「明治安田Ｊ１百年構想リーグ」も2025シーズンに引き続き、東京ヴェルディの公式ユニフォームの「背中裾」部分にクラスメソッドのコーポレートロゴが掲出されます！

クラスメソッドは、2025シーズンより東京ヴェルディのパートナーとして歩みを共にし、テクノロジーの側面からクラブの活動を支援してまいりました。2026シーズンにおいても、IT技術を通じたファンエンゲージメントの向上やクラブ運営の効率化など、多角的なサポートを継続し、東京ヴェルディとともに新たな価値を創造してまいります。



詳細はこちら

東京ヴェルディの公式アプリを開発 ～コーポレートパートナーとしてデジタル戦略を支援～

東京ヴェルディのコーポレートパートナーとして、「東京ヴェルディ公式アプリ」を開発いたしました！

クラスメソッドは2023年より東京ヴェルディのコーポレートパートナーとして、クラブのデジタル戦略を多方面から支援しています。
本アプリはその一環として、ファン・サポーターとクラブとのコミュニケーションを強化するために開発されました。
より豊かなファン体験を創出するために、今後も順次機能拡充をしてまいります。

ニュースリリース：https://classmethod.jp/news/20250805-verdy-app



【主な機能】

東京ヴェルディに関する様々な情報を集約した情報ポータルとして、これまでブラウザで検索していた公式WEBサイトや、チケット・グッズなど各購入WEBサイトへも、本アプリからワンタップで直接アクセスできます。

- チーム情報・クラブからのお知らせ
- チケット購入
- グッズ購入
- スタジアム・イベント情報
- スタンプラリー

本アプリは以下より無料でダウンロードいただけます：
iOS：https://apps.apple.com/jp/app/id6748467372
Android：https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.tokyoverdy.app

※本アプリはリリース後も機能拡充を予定しており、段階的に新機能を提供してまいります。仕様は予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

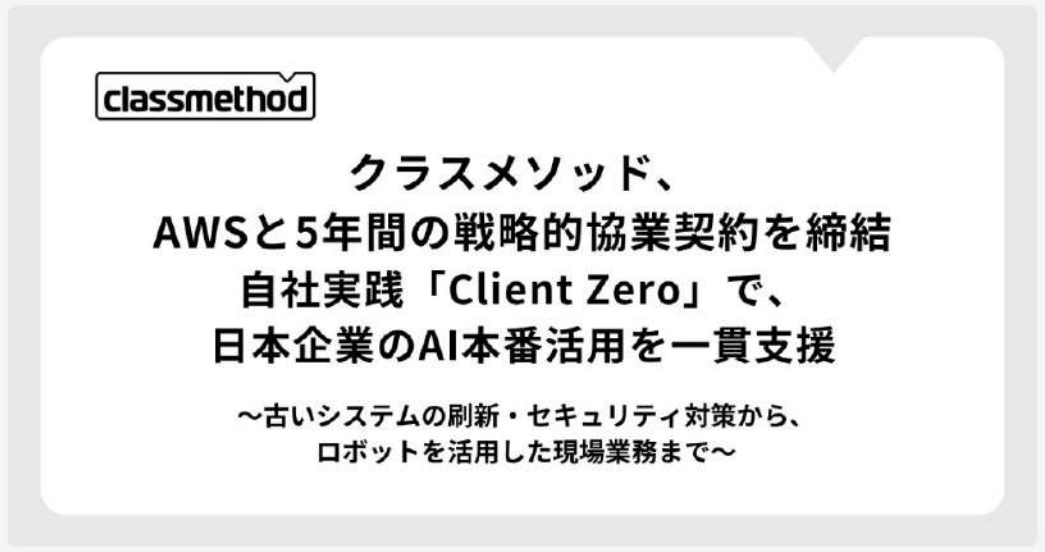
目次

1. お知らせ ----------5
2. 生成AI----------23
3. IT業界トレンド ----------31
4. セミナー・ウェビナー紹介----------35
5. CMパートナーズ----------38
6. その他サービス----------41

お知らせ

AWSと5年間の戦略的協業契約を締結

Amazon Web Services（AWS）プレミアティアサービスパートナーであるクラスメソッド株式会社は、AWSと新たに5年間の戦略的協業契約（SCA：Strategic Collaboration Agreement）を締結したと発表いたしました。



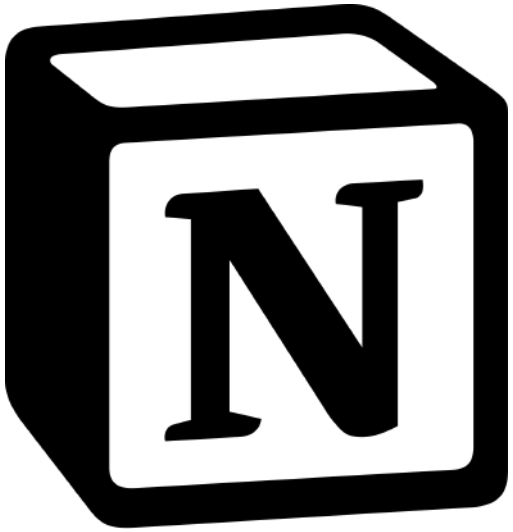
掲載ページ:https://classmethod.jp/news/261028-sca/

Client Zeroは、クラスメソッド自らが最新技術の最初の実践者となり、自社で得た成果や課題を実践知として体系化し、お客様のビジネス変革に還元する取り組みです。成功事例だけでなく、実装時の課題、運用上の制約、セキュリティやガバナンスの論点まで整理し、お客様に提供しています。

本協業は、AIが日々の事業に浸透する中で、日本企業が新たな脅威から事業を守りながら、AIを組織全体で活用し、事業の成長につなげられるよう一貫して支援するものです。
クラスメソッドは、古いシステムの刷新とセキュリティ対策、導入後の継続的な運用支援、製造・小売・金融を中心とした業種別のソリューション提供に取り組み、初年度に30社での本番導入を目指します。その中核拠点として、2026年11月2日に体験・検証拠点「AI Experience Center」を開設します。
これらの取り組みは、クラスメソッドが自社を最初の顧客として先行実践する「Client Zero（クライアントゼロ）」戦略に基づくもので、自社で得た成果と課題を実践知としてお客様に還元します。

■本契約に基づく主な取り組み
・古いシステムの刷新とセキュリティ対策
・導入後の運用支援
・製造・小売・金融を中心とした業種別のソリューション
・Client Zeroによる実証済みの手法の提供
・体験・検証拠点「AI Experience Center」の開設

Notion の取り扱いを開始しました！



掲載ページ: https://classmethod.jp/partner/notion/

クラスメソッドは、**AWS MarketplaceのCPPO**を通じてNotionの提供を開始しました。

日本円の請求書払いで導入できます

クレジットカード払いやドル建て決済が難しい企業でも、**銀行振込**で導入を進められます。

利用料をAWSの請求に一本化できます

Notionの利用料を**AWSの請求に統合**。複数ベンダーへの支払い・契約管理の手間を減らせます。

■Notionでできること

1 情報を集約して活用

ドキュメント・議事録・プロジェクト情報をNotionに集約。共有・共同編集で、必要な情報を見つけやすくします。

2 自社に合った設計・運用

情報の整理方法や運用ルールを柔軟に反映。自社に合った活用が可能です。

3 Notion AIで知識を活用

ワークスペース内の情報をもとに、要約・文章作成・質問への回答を支援します。

*Notionの費用はプラン・利用人数・契約期間により異なります。お見積りは個別にご案内します。　Notion AIで利用できる機能はプランにより異なります。

CMPでメンバーズユーザーのMFA設定を推奨するお知らせを公開しました

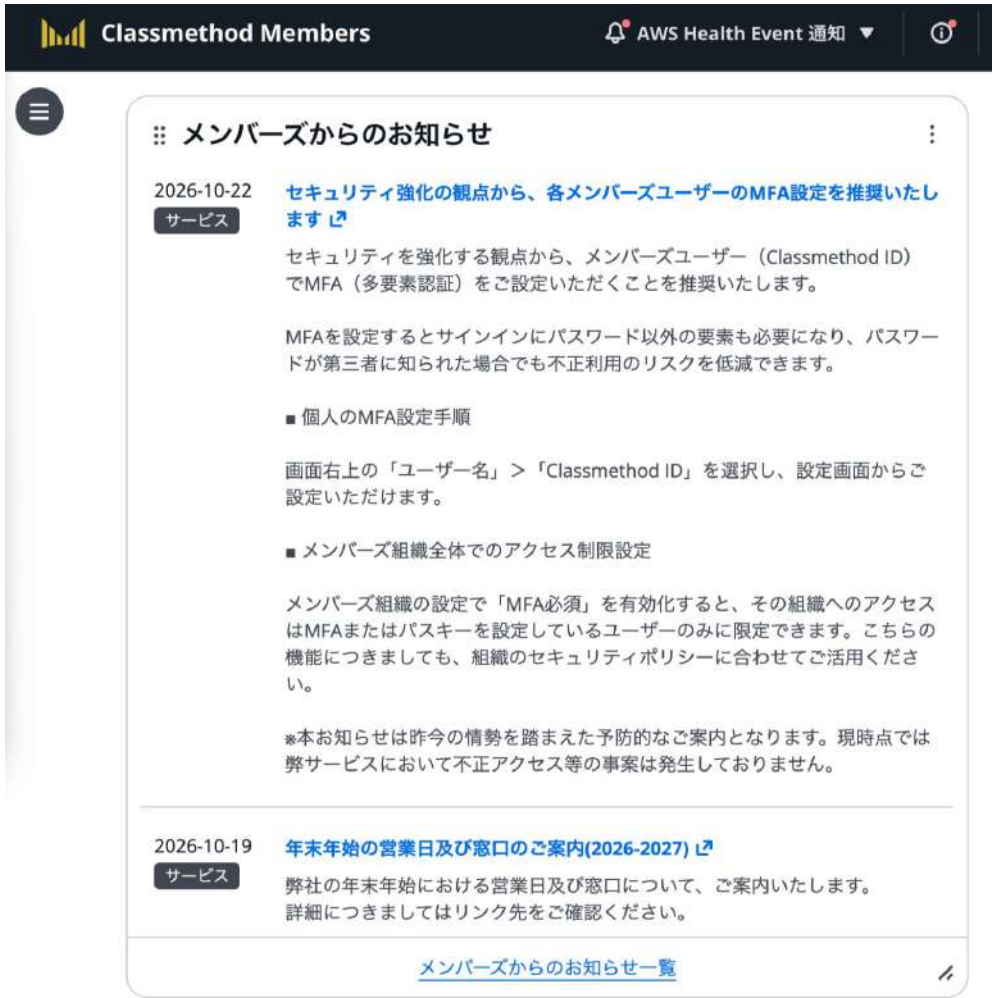
昨今のセキュリティ情勢を受けて、お客様が保持・管理するCMP上のメンバーズユーザー（Classmethod ID）にMFA設定を推奨するお知らせを公開しました。セキュリティを強化する観点から、メンバーズユーザー（Classmethod ID）でMFA（多要素認証）をご設定いただくことを推奨いたします。MFAを設定するとサインインにパスワード以外の要素も必要になり、パスワードが第三者に知られた場合でも不正利用のリスクを低減できます。

■ 個人のMFA設定手順
ポータル画面右上の「ユーザー名」＞「Classmethod ID」を選択し、設定画面からご設定いただけます。

■ メンバーズ組織全体でのアクセス制限設定
メンバーズ組織の設定で「MFA必須」を有効化すると、その組織へのアクセスはMFAまたはパスキーを設定しているユーザーのみに限定できます。こちらの機能につきましても、組織のセキュリティポリシーに合わせてご活用ください。

※本お知らせは昨今の情勢を踏まえた予防的なご案内となります。現時点では弊サービスにおいて不正アクセス等の事案は発生しておりません。

詳細・ご利用ガイドは**こちら**



Classmethod Cloud Guidebook (CCG) 更新情報

CCGとは？

マルチアカウント管理や AWS Security Hub CSPM対応のナレッジ、AWS 利用ガイドラインのサンプルを公開している Web サイトです。クラスメソッドメンバーズのお客様向けに無償で提供しています。

- クラスメソッドメンバーズポータルからアクセスできます
- クラスメソッドのエンジニアにより継続的に更新され、改善されております
- 紹介ページ：クラスメソッドメンバーズのお客様向けに公開している「Classmethod Cloud Guidebook (CCG)」の使い方

お知らせ・更新情報 (2026-10-07)

- CCGのSecurity Hub CSPMガイドに、34コントロールを追加しました。
  - 今回、2025年10月から2026年4月までにAWSが追加したコントロールのうち、34個の解説を新しく載せました。
  - 対象はCognito、ECS、SageMaker、RDS、ELBなどです。廃止された4コントロールも整理しました。

変更の一覧は改訂履歴をご確認ください。

【11/30～12/4】「AWS re:Invent 2026」にスポンサーブース出展 クラスメソッドポータルサイト公開

クラスメソッド株式会社は、11月30日から米国ラスベガスで開催されるAWS主催のグローバルカンファレンス「AWS re:Invent 2026」にスポンサーとしてブース出展いたします。また、「AWS re:Invent 2026」の最新情報を日本語でご紹介するポータルサイトを公開いたしました。今年も現地の様子やAWSの発表情報を、DevelopersIOブログやYouTube等で随時更新していきます。



■「AWS re:Invent 2026」 クラスメソッドポータルサイト

現地でのブース出展に加え、re:Inventの最新情報とクラスメソッドの現地レポートを紹介する日本語ポータルサイトを公開しました。
新サービスやアップデート、オンラインでも視聴できる技術セッションの様子を掲載します。イベント後には、オンライン / オフラインの勉強会でも注目されたトピックをお伝えします。

「AWS re:Invent 2026」 クラスメソッドポータルサイト
URL：https://classmethod.jp/m/reinvent/2026/

■開催概要
日時：2026年11月30日(月)～12月4日(金) （米国時間）
会場：ラスベガス
主催：Amazon Web Services, Inc.
詳細：https://aws.amazon.com/jp/events/reinvent/

【事前セミナー開催】

11月10日(火)13:00～14:00 オンライン

AWS re:Invent 2026 開催直前

初参加でも安心！誰でも役立つ効果的な参加術

お申し込みはこちらから！



New 国との通信の「遅い・つながらない」を解決する CMI連携

政府認可の通信事業者 China Mobile International(CMI)とクラスメソッドが協業し、日中のクラウド・拠点を法規制に沿ってつなぎます。

中国⇔日本の通信遅延(AWS北京⇔AWS東京)

約300ms ▶ **約60ms**

インターネット経由 → CMIの専用線(Cloud Connect)

法規制に準拠
政府認可の通信事業者

可用性99.99%
冗長構成のSLA

無料トライアル
導入前に試せる

こんな悩みはありませんか

- 日中の拠点間の通信が遅い、不安定
- AWS中国と東京でデータを連携したい
- 中国から本社のSaaSにつながりにくい
- 中国のデータを規制に沿って日本で使いたい

課題に合わせて選べるサービス

Cloud Connect	日中のAWS・拠点・他クラウドを専用線で接続
SD-WAN	今あるネット回線のまま、日中の拠点を安定接続
AAS	中国から指定のSaaS・Webサイトへの通信を高速化
AWS中国アカウント	クラスメソッドが提供。メンバーズポータルで管理

クラスメソッドが支援すること(AWSまわり)

- AWS側の接続設定(Direct Connect)の支援
- AWS中国アカウントの用意と、AWS活用の支援

CMIが提供すること(回線・現地・サポート)

- 日中間の専用線・SD-WAN・AAS、中国現地の機器設置
- サポートの一次窓口(24時間365日は中国語・英語。日本語は平日の日中)

※詳細は担当営業までお問い合わせください。

「クラウドセキュリティ運用総合支援サービス」運用フェーズのご紹介

クラスメソッドの新たなセキュリティサービスとしてクラウドセキュリティ運用総合支援サービスの提供を開始しました。

検知・自動調査・判定・通知・障害対応までを、24時間365日で提供します。
二次対応・是正支援等は、弊社エンジニアが営業日・日中帯で提供します。



サービス詳細・お問い合わせ：https://classmethod.jp/aws/services/security-operation/

Claude Partner Network で Preferred ローンチパートナーに

クラスメソッド株式会社は、Anthropic, PBC（以下 Anthropic）が提供する Claude Partner Network において、Services Track の Preferred ローンチパートナーになりました。



掲載ページ:https://classmethod.jp/news/261007-claude-partner-network/

■Claude Partner Network について

Claude Partner Network は、顧客向けに Claude を本番環境で提供する企業（パートナー）と Anthropic が連携するためのプログラムです。Services Track では、認定資格を取得したデリバリーチーム、顧客への導入、公開顧客事例による実績の証明を通じてパートナーを審査します。パートナーは Select、Preferred、Global Premier の各ティアへと段階的に進みます。クラスメソッドは Claude Partner Network における Services Track の Preferred ローンチパートナーとなりました。

■提供サービス

クラスメソッドは、Claude の導入を次のとおり支援します。

- Claude Enterprise / Claude Code / API（Amazon Bedrock 経由を含む）の選定と導入支援
- AI 駆動開発プロセスの構築と、開発チームへの技術トレーニング
- アーキテクチャ設計・構築、PoC から本格実装までの段階的な支援
- 運用・最適化コンサルティング

クラスメソッドは、Anthropic との協力体制を活かし、日本企業が Claude を本番環境で活用できるよう、導入から運用までを支援します。

サービス詳細：https://classmethod.jp/services/claude/

OpenAI / ChatGPT Enterprise 導入支援サービスを開始しました

クラスメソッドは OpenAIのパートナー企業としてChatGPTの企業導入をサポートいたします。OpenAI Partner Network は、パートナーが OpenAI とともにAIソリューションを構築・提供するためのグローバルプログラムです。

*なお ChatGPT Enterprise のご契約自体はお客様と OpenAI の間で締結いただく形となります。

モデルを中立に選べる立場から助言します

OpenAI のモデルだけでなく、Amazon Bedrock 経由の Claude, powered by Anthropic や Azure OpenAI Service を用いた構築も手がけています。「そもそも ChatGPT が最適か」という前提から一緒に検討できるため、選定の理由を社内で説明できる形に整理できます。

モデル選定から構築・運用まで一貫して対応します

クラスメソッドでは ChatGPT や Amazon Bedrock などの各種生成AIサービスの選定からインフラ構築、アプリ開発まで支援しています。検証で終わらせず、運用保守フェーズまで同じ体制で引き受けられます。



掲載ページ:https://classmethod.jp/services/openai-chatgpt-enterprise/

■このサービスでできること

- 環境構築 / API連携支援
  - 初期設定やユーザー管理の設計、API を使った社内システムとの連携・RAG構築を支援します。
    既存の AWS 環境や社内データソースとつなぐ設計から実装まで対応します。
- 部門別プロンプト研修 / 活用ワークショップ
  - 配っただけで終わらせないために、部門ごとの実業務を題材にしたプロンプト研修とワークショップを実施します。
    現場で使える手順に落とし込み、社内展開の担い手を育てます。
- AI利用ポリシー策定 / セキュリティ審査支援
  - 社内のAI利用ポリシーやガイドラインの策定と、情報システム部門のセキュリティ審査に必要な整理を支援します。
    データの取り扱い・監査ログ・利用範囲の線引きなど、審査で論点になりやすい項目を文書化します。

クラスメソッド、ヤマトプロテックと消防防災向けフィジカルAIの共同研究を開始

クラスメソッド株式会社（本社: 東京都港区）とヤマトプロテック株式会社（本社: 東京都港区、以下「ヤマトプロテック」）は、消防防災向けフィジカル AI の共同研究と実証実験を開始いたしました。



■今後の展開
今回の結果をもとに、消防設備との連動範囲を広げた実証を進め、消防防災分野におけるフィジカルAIの実用化を目指します。あわせて、得られた知見を関係機関と共有し、社会実装を加速させてまいります。

実証実験の背景
少子高齢化による消防人員減少や現場の危険リスクに対し、「消防技術戦略ビジョン」でもAIロボティクス活用が重点化されています。これを受け、AIや計算基盤の実装力を持つクラスメソッドと、消防現場の知見を有する総合防災メーカーのヤマトプロテックが共同研究を開始。両社の強みを融合し、消防士が立ち入れない危険環境での消火支援や捜索救助支援におけるフィジカルAIロボットの自律対応を目指します。

※消防技術戦略ビジョン：https://www.soumu.go.jp/main_content/001064554.pdf

実証実験の内容
- 四足ロボットによる建物内探索・サーマルカメラでの熱源検知
- 四足ロボットと人型ロボットの異種協調による現場誘導
- 四足ロボットと人型ロボットによる建物内階段昇降・屋外不整地での機動性能検証
- ロボット学習基盤を活用した自然言語処理によるモーション自動生成から実際のロボット動作までの一貫制御試験
- 四足ロボットと連動する消防設備等による放射試験
- ヤマトプロテックが独自に構築・運用するAIエージェント基盤からの人型ロボット遠隔制御




「2026 Snowflake Partner Champion」に弊社メンバーが選出

Snowflake合同会社が認定する「2026 Snowflake Partner Champion」にクラスメソッドから安原・川畑、鈴木の3名が選出されましたのでお知らせします。

「Snowflake Partner Champion」は、技術研鑽や情報発信はもとより、顧客向けの提案・検討・実装、そして社内への知見還元を通じて、Snowflake ビジネスの成長と顧客の技術的成功に貢献するエンジニアを Snowflake が年度毎に認定するパートナー技術者向けの称号です。SPN パートナー企業に所属し、一定の応募基準を満たす対象エンジニアによるセルフノミネーション方式で行われ、Snowflake がその活動内容と実績を基に厳正な選考を行います。

クラスメソッドからは、産業支援グループModern Data Stackチームの安原 朋紀と川畑 智大、データ事業本部 ビジネスソリューション部 データエンジニアリンググループの鈴木 那由太の3名が選出されました。技術ブログ「DevelopersIO」での記事執筆をはじめとする技術情報発信が高く評価されています。

安原 朋紀:
https://dev.classmethod.jp/author/yasuhara-tomoki

川畑 智大:
https://dev.classmethod.jp/author/kawabata-tomohiro

鈴木 那由太:
https://dev.classmethod.jp/author/nayu_t_s



「Snowflake Partner Champion Program」:
https://www.snowflake.com/ja/news/press-releases/snowflake-strengthens-partner-ecosystem-with-new-engineer-certification-program

「グロースパック for LINE」の機能を大幅拡充しました

LINEミニアプリ開発パッケージ「グロースパック for LINE」の既存3機能に7つの新機能を追加し、計10機能に大幅拡充しました。
クラスメソッドは、「LINEヤフー Partner Program」の「Technology Partner」としてLINEミニアプリ関連の開発に最初期から携わり多数の実績を持っています。

サービス詳細・導入事例はこちら：https://lp.growthpackforline.classmethod.net/

「グロースパック for LINE」が実現する3つの成長フェーズ

「グロースパック for LINE」は、コストパフォーマンスの高いパッケージです。
ハーフスクラッチ開発を採用することで、初期コストを抑えながら、拡張性・サポート・性能を確保します。
今回の機能拡充により、既存の3機能に加え、新たに7機能を追加。計10機能で顧客ライフサイクル全体を支援します。



フェーズ1. 顧客接点の創出

新規顧客との最初の接点を生み出す

- **会員証**：QRコード読み取りから5秒で会員証を発行。CRM連携により、店舗・EC横断で顧客行動を可視化
- **順番待ち**：店頭での待ち時間をLINE上で管理。顧客体験を向上させながら、来店データを取得
- **予約**：LINE上で予約受付・確認が完結。予約情報とCRMを連携し、属性別の予約傾向を分析

フェーズ2. エンゲージメント強化

獲得した顧客との関係を、楽しく継続的に育む

- **スタンプカード**：来店・購買ごとにスタンプを付与。デジタル化により紛失リスクをなくし、継続来店を促進
- **クーポン配信**：来店・購買促進のためのクーポンを配信。利用状況をリアルタイムで把握し、施策効果を測定
- **チケット・パス発行**：イベントチケットや会員限定パスをLINE上で発行。入場管理と顧客データを一元化
- **抽選**：限定商品やキャンペーン特典の抽選をLINE上で実施。参加データを活用し、興味関心を可視化

フェーズ3. 関係性深化

顧客一人ひとりに最適化されたコミュニケーションと推奨行動の促進で、ロイヤルティを高める

- **セグメント配信&リッチメニュー**：年齢・性別・購買履歴などでユーザーをセグメント化。リッチメニューの自動切り替えとメッセージ配信で、反応率を向上
- **1to1コミュニケーション**：LINE上での顧客とのチャットを、管理画面から対応可能。CRMの顧客情報を見ながら対応でき、対応履歴が自動記録され、対応漏れを防止
- **ギフト**：友人・家族にサービスや引換券を贈答できる機能。ロイヤル顧客による推奨行動を促し、信頼性の高い口コミで新規顧客を獲得

AWSアカウントへの「サービス制限設定」導入のお知らせ

このたび、AWSアカウントの不正利用による高額請求の発生防止、または被害額の低減を目的とし、クラスメソッドメンバーズのAWSアカウントに「サービス制限設定」を導入いたします。

■変更の背景

弊社がお預かりしている AWS アカウントにおいて、AWS アクセスキーの漏洩を契機とした Amazon Bedrock の不正利用による高額請求の事例が立て続けに発生しております。

AWSアカウントのアクセスキー漏洩などを起点とした不正利用では、生成AIや大型のコンピューティングリソースを短時間に大量実行され、高額な利用費が発生する被害が増加しています。

クラスメソッドメンバーズでは、事後の検知だけでなく、初期状態で不正利用を抑止しつつ正常なご利用を妨げない仕組みとして本機能を提供いたします。

提供開始：2026年8月31日（月）

■変更の内容

不正利用防止のため、以下の4サービスにガードレールを適用します。

- **Amazon Bedrock**:
  利用およびサービス固有の認証情報作成を制限
- **Amazon ECS**:
  8 vCPUまたは60 GiBを超えるタスク定義の登録を制限
- **Amazon EC2**:
  一定スペックを超えるインスタンスの起動を制限
- **Amazon SageMaker**:
  利用制限

各制限で拒否される具体的な操作（対象アクション）は、メンバーズ仕様書をご確認ください。
…4.2. サービス制限設定により制限される操作

■設定方法

メンバーズポータル ＞AWSアカウント＞ セキュリティ設定 ＞「サービス制限設定」
制限を「有効」にしたサービスについて、サービス制限を適用します。

【緊急時のご連絡体制について】

アクセスキー漏洩等のセキュリティインシデントに備え、緊急連絡先の登録・更新をお願いしております。
「緊急連絡先電話番号」をご登録いただいていないお客様は、ぜひご登録をご検討ください。登録や変更はメンバーズポータルよりお手続きください。

詳細は**こちら**のガイドをご参照ください。

AWSコスト可視化・分析ツール「Members Cost Explorer」をリリースしました

クラスメソッドメンバーズのポータルサイトにて、組織全体のAWS利用状況を多角的に分析できる新機能「Members Cost Explorer」の提供を開始いたしました。

■主な機能とメリット

組織全体のコストを可視化
プロジェクト、サービス、AWSアカウントなどの切り口で、メンバーズ組織全体のコストと使用量を可視化・分析できます。

請求ベースの金額確認:
実際のメンバーズの請求に基づいた正確な金額を確認することが可能です。

特定期間のリソース分析
任意の期間内（最大14日間）で、リソース単位のコストを可視化。
調査が必要な際のコストドライバー特定に役立ちます。

プロジェクト単位の比較
請求単位である「メンバーズプロジェクト」ごとのコスト比較が容易に行えます。





■ご利用にあたっての留意事項

- コスト予測やSavings Plansの分析など、AWS Cost Explorerで提供されている一部の機能には現在未対応です。
- 機能リクエストや改善のご要望は、メンバーズポータル内の「フィードバック」機能より随時受け付けております。

詳細・ご利用ガイドは[こちら]

【新機能】AWSコスト配分タグの拡張：より詳細なコスト分析が可能になりました

AWSリセールビジネスにおいて、お客様がコスト分析に利用できる「コスト配分タグ」を大幅に拡充し、プロジェクトや部署ごとの詳細な利用状況把握を支援します。

■アップデートの概要

これまでの **CmBillingGroup** に加え、新たに以下の6つのタグがコスト配分タグとして標準利用可能になります。

- 追加されるタグ
  - **Organization**
  - **Department**
  - **Project**
  - **Environment**
  - **Service**
  - **Owner**
- 対象
  - クラスメソッドメンバーズのすべての管理アカウント（ご契約プランに関わらず一律適用）
- リリース日
  - 2026年4月1日（水）

■本機能導入のメリット

- 多角的な分析
  - 組織（Organization）や環境（Environment）など、一般的な分類キーを利用してAWSコストを可視化できます。
- ポータル連携
  - 「Members Cost Explorer」や「タグ毎のご利用料金比率画面」でも、これらの新しいタグを活用した分析が可能になります。

【重要】ご案内・注意事項

データの出力形式（カラム数）が変更されるため、自動処理を行っているお客様には事前の確認を推奨してください。

データフォーマットの変更

- 各種データ出力機能（CSV、メンバーズCUR）において、末尾に新しいタグ情報のカラムが追加されます。
  - RPAやバッチ処理等で自動取り込みを行っている場合、エラーが発生する可能性があります。

適用範囲

- タグ有効化（3/29予定）以降のコストに適用されます。過去データに遡っての再計算はできません。

無効化不可

- システム側で一律メンテナンスされる機能のため、お客様側での無効化・オプトアウトはできません。

詳細・ご利用ガイドは**こちら**

【機能拡張】タグ毎の料金アラームがコスト配分タグに対応：部署・プロジェクト単位でのコスト監視が可能になりました

クラスメソッドメンバーズポータル（CMP）の「料金アラーム」において、タグ毎に設定できるアラームの対象タグを拡充し、部署やプロジェクト、環境ごとの AWS 利用料金の監視を支援します。

■アップデートの概要

これまで CmBillingGroup タグのみを対象としていた「タグ毎の料金アラーム」を、コスト配分タグ7種のいずれでも設定できるようになりました

- 対象となるタグ
  - **CmBillingGroup（従来から対応）**
  - **Organization**
  - **Department**
  - **Project**
  - **Environment**
  - **Service**
  - **Owner**
- 対象
  - クラスメソッドメンバーズのすべてのアカウント
- リリース日
  - 2026年9月2日（水）

■本機能導入のメリット

- 任意の単位でのコスト監視
  - 部署（Department）や環境（Environment）など、一般的な分類キーごとに当月の利用料金の閾値を設定し、超過時にメールで通知を受け取れます。
- 予算超過の早期検知
  - 開発・検証環境の使いすぎや、特定プロジェクトの想定外のコスト増加を、月末の請求を待たずに把握できます。

詳細・ご利用ガイドは**こちら**

導入事例のご紹介

これまでにクラスメソッドが支援したお客様の事例をインタビューとともにご紹介します。
新たに追加掲載した導入事例のうち、下記をピックアップしました。

- 月額約300万円のコスト削減を実現 AWSのコスト最適化に二人三脚で取り組んだ 3ヶ月（プラス株式会社様）
- AI駆動開発の全社展開に向けて実践的なトレーニングで体系的な知識を習得 （日本ゼオン株式会社様）
- 旬のタルトのインサイトをデータ ×AIで Redshiftと生成AIツールでデータドリブン経営基盤を構築（キルフェボン株式会社様）
- 音声認識APIの認知拡大に貢献した投稿キャンペーン

  Zenn主催企画で70本以上のアウトプットを創出（株式会社アドバンスト・メディア様）
- AWSの設計レビューから内製化までクラウド開発の知見を社内に残す伴走支援 （株式会社JR西日本ITソリューションズ様）
- Claude Code勉強会を通じ、参加メンバーが AI活用の第一歩を実感（株式会社日立社会情報サービス様）
- 医療安全SaaS「Zeroharm」、3省2ガイドライン準拠のマルチテナント基盤で全国へ （ゼロハーム株式会社様）
- Claude Code/Cowork導入において、ガバナンスからトレーニングまでワンストップ支援 （株式会社ベガコーポレーション様）

導入事例一覧：https://classmethod.jp/cases/

生成AI

生成AI総合支援サービス

コンサルティングからシステム構築後の運用保守代行まで、生成AI活用を総合的に支援します。



こんなお悩みはありませんか？

- 生成AIを導入したいが、何から手をつければ良いか分からない
- 社内にAI実装の経験者がいない
- PoCはできたが、本格的なシステム開発に進めない
- 導入したAIが、現場で使われずに形骸化しないか心配だ
- 将来的にはAI開発を内製化したいが、そのノウハウがない

■お客様の状況に合わせた3つの支援アプローチ

まずは試してみたい方 クイックスタートプラン	一緒に開発を進めたい方 伴走支援プラン	プロジェクトを任せたい方 フルサポートプラン
・生成AIの効果を、早く低リスクで試したい ・安全な環境でまずは、具体的な活用イメージを掴みたい ↓ 業務別のテンプレートをご提供。最短1週間でPoC環境を構築し、すぐに体感いただけます	・自社で開発を進めたいが、専門家の技術支援が欲しい ・設計や実装のレビューを受けながら、内製化を目指したい ↓ 週1回の技術相談会や設計・実装レビューなどを通して、貴社の内製化をサポートします	・重要なプロジェクトを、確実に成功させたい ・開発はプロに任せ、自社のリソースは本業に集中させたい ↓ パッケージ製品や、カスタマイズした高品質なシステムでご希望の環境を実現します

【事例】

クイックスタートプラン　キッツ様のRAG活用事例

伴走支援プラン　PSソリューションズ様のRAG活用事例

フルサポートプラン　オプテージ様のRAG活用事例

Claude導入・活用支援の提供開始

「何から始めればいいの？」から「使ってみて感じた課題」までノンストップでご支援が可能となっております。

Anthropic公式リセラーとして、また実際にClaude Enterpriseをグループ全体1000人規模にて活用しているノウハウを生かし、貴社に合わせたご支援を提供させていただきます。



もちろんClaude以外の
AIサービスもご支援可能！



サービスページ：
https://classmethod.jp/services/claude/

組織知を継承するAIエージェント技術「ghoost（ゴースト）」の特許を取得

クラスメソッド株式会社は、組織に属する個人の知見・判断パターンを継承可能なAIエージェントとして再構築する技術について、2026年4月30日(木)に特許を取得しました。本特許技術を活用した生成AIサービス「ghoost（ゴースト）」は、**北海道文化放送株式会社における先行導入**でPeer承認率（※）92.3% を記録し、実用段階に到達しています。



※Peer承認率は、対象者本人ではない第三者（同僚・関係者）が、生成されたghoostの応答を「本人らしい」と承認した比率を示します。本人ではなく 周囲が認めた数値 である点が、本技術の組織知継承能力を示しています。

■ ghoostについて

ghoostは、対象者の考え・思考、知見、記憶を元に本人の判断パターンを再現するAIエージェントサービスです。インタビューの自動化と統合処理により、1名あたり約1〜2時間で初版のAIエージェントを生成可能。短期間での組織展開を可能にしています。
導入の損益分岐点は、極めて低い水準に設計されています。たとえば従業員300名規模の組織であれば、1人あたり週10分弱の会議時間削減で月額利用料を回収できる試算であり、導入ハードルを抑えながら組織全体の生産性向上に寄与します。

サービス詳細はこちら
：https://classmethod.jp/aixc/services/ghoost/

老朽化したシステムのバージョンアップから運用保守までをAIで一気通貫支援する「AI駆動レガシーマイグレーション」を提供開始

クラスメソッドは、新サービス「AI駆動レガシーマイグレーション」の提供を開始いたします。

本サービスは、サポートが終了した、あるいは終了が迫るシステム基盤のバージョンアップをAIで加速し、移行完了後もAIを活用した24時間365日の運用保守へシームレスに移行するものです。

こんなお悩みはありませんか？

- サポート切れのシステムを、リスクと分かりながら使い続けている
- ベンダーを変えたいが、引き継ぎ時に何が起きるか予測できない
- 移行と運用が別ベンダーになり、知見が引き継がれずまた同じ問題が起きる
- バイブコーディング（設計図なく勢いで作られたシステム）で作ったシステム、本当にリリースしていいか不安
- 「誰もわからない」システムを抱えたまま、担当者退職のリスクに怯えている

アセスメントから運用まで一気通貫で、

AIを活用しながら解決していきます。

サービス概要

本サービスは3フェーズで構成されます。

Phase 1｜AIアセスメント
対象システムの規模・リスク・概算工数を、専用にカスタマイズされたAIエージェントで短期間に可視化します。設計書と実コードの差異検出や、ソフトウェア部品のサポート期限の洗い出しも含みます。結果レポートは社内稟議資料としてもご活用いただけます。

Phase 2｜AI駆動バージョンアップ
AIによる最適な移行手順書の自動生成、テストコードの新規作成、定型作業の自動処理を実施。エンジニアはシステム固有の判断箇所に集中し、品質と速度を両立します。

Phase 3｜AI 24/365運用保守
移行チームがそのまま運用保守を担当。AIによる常時監視・異常検知と、継続的なセキュリティパッチ適用で、次回の大規模EoL対応リスクを低減します。

サービス詳細ページ
：https://classmethod.jp/services/ai-driven-legacy-migration/

AI駆動インフラ開発支援サービスを提供開始

クラスメソッド株式会社は、Claude CodeとTerraform / AWS Cloud Development Kit（AWS CDK）/ AWS CloudFormationといったIaC（Infrastructure as Code）ツールを組み合わせ、生成AIを活用したインフラ開発を組織として安全・効率的に導入・定着させる「AI駆動インフラ開発支援サービス」の提供を、2026年6月より開始します。
AWS支援5,600社以上の知見をもとに、AIコーディングエージェントの活用に課題を抱えるお客様や、属人化したノウハウを組織全体へ展開したいお客様に向けて、研修からガイドライン・テンプレート整備、CI/CDによる品質担保、内製化までを一貫して伴走支援します。

サービスの特徴

・自組織に合った第一歩
IaC未導入の組織から、すでに運用済みで次の一手を探す組織まで、課題・成熟度に応じたアプローチでAI駆動インフラ開発をスタートできます。

・専門家による伴走支援
IaC・AI活用の両方に精通したエンジニアが、Claude CodeとTerraform / AWS CDK / AWS CloudFormationなど主要なツールを横断し、導入から定着まで一緒に進めます。

・チームへの展開を見据えた設計
個人の知識にとどまらず、ガイドライン策定・テンプレートリポジトリ構築・CI/CD整備まで、チーム全体で活用できる体制構築を支援します。

・状況に合わせて選べるプラン
研修プラン（50万円〜／税別）、導入支援プラン（100万円〜／税別）、開発基盤整備プラン（200万円〜／税別）、カスタムプランをご用意。内容のカスタマイズも可能です。

サービス詳細・お問い合わせ：
https://classmethod.jp/aws/services/aidd-infra/
サービス資料のダウンロード（支援範囲・プロセス・実績）：
https://classmethod.jp/download/aidd-infra/

提供プラン（一例）

プラン	支援内容	期間	主な成果物	料金目安（税別）
研修プラン	Claude Codeを活用したインフラ開発の実践的ハンズオン（オンライン・3時間程度）	1日	研修資料	50万円〜 ※参加人数により変動
導入支援プラン	1日集中ワークショップ＋1ヶ月の技術QAサポート。IaC選定から実装支援まで伴走型で対応	1ヶ月	研修資料、技術QA（固定の成果物はなし）	100万円〜 ※参加人数により変動
開発基盤整備プラン	AI活用ガイドライン策定・テンプレートリポジトリ構築・CI/CD整備を2ヶ月伴走支援	2ヶ月	ガイドライン・テンプレートリポジトリ	200万円〜
カスタムプラン	状況・フェーズに合わせて支援内容を柔軟にカスタマイズ	要相談	要相談	要相談

大企業向けに既存スマホアプリの作り直しを担うサービス「AI駆動アプリリニューアル」を開始

クラスメソッド株式会社は、既存スマホアプリのリニューアルに特化したサービス「AI駆動アプリリニューアル」の提供を開始します。仕様の読み解きや開発の一部に生成AIを活用し、アプリと裏側の基盤を同じチームが一貫して担う体制で、リニューアル後の事業成長まで継続的に支援します。



■クラスメソッドの強み

（強み1）アプリ開発とクラウド基盤、両方の専門性を社内に持つ

アプリと基盤をひとつのチームで担うには、スマホアプリ開発とクラウド基盤設計の両方の技術力が必要です。クラスメソッドはその両方を社内に持ち、ひとつのチームとして動かします。

スマホアプリ開発では、アパレルや小売・外食・フィットネスといった消費者向けサービスのアプリを多数手がけてきた実績があります。クラウド基盤設計では、AWSの国内最上位パートナーとして約5,600社を支援してきました。開発にはiOS・Androidを一度にまとめて対応できるFlutterを採用し、手戻りや二重コストを抑えています。

（強み2）AIを開発に活用し、品質とスピード、その後の運用までを支える

「AI駆動アプリリニューアル」という名前のとおり、リニューアルの工程で生成AIを活用しています。仕様の読み解きやプログラム作成の一部をAIが担うため、クラスメソッドはお客様の事業の理解と、事業部が本当に必要としている改善の検討に、より多くの時間を充てられます。

プレスリリース詳細：
https://classmethod.jp/news/260729-ai-app-renewal/

製造現場のデータ活用を加速させ、“スマート工場化”を実現する「Classmethod SmartFactory AI Base」を提供開始

製造業のデジタルトランスフォーメーション（DX）を加速させるデータプラットフォーム「Classmethod SmartFactory AI Base」の提供を開始します！本サービスは、工場内の多様なデータ（設備、センサーなど）をクラウドに集約し、セキュアな環境で可視化・分析・通知を実現します。これにより、現場に点在するデータを価値に変換。人手不足、情報のサイロ化、データ活用の遅れといった製造業が抱える本質的な課題解決に貢献します。

【Classmethod SmartFactory AI Baseで主に実現できること】

SmartFactory Stream：データ収集
あらゆる機器・センサーからデータを吸い上げ、一元管理を実現します。

SmartFactory Timeline：時間軸の帳票
工場の動きをタイムラインで可視化し、計画・調整・障害発生等の際にも、因果関係が明確になり、多角的に状況を分析することができます。

SmartFactory DNA：スキル継承・共有
AIを活用し、熟練工の暗黙知を形式知化し、技術継承を加速します。
業務の属人化を解消することにも繋がります。

SmartFactory Meister：FAQ・ナレッジ
製造業の現場やコールセンター等で生じた疑問に対し、社内のデータを学習したAIが即答することで、マニュアル検索にかけていた時間をゼロに近づけます。
検索に対して特別なスキルは必要なく、自然言語でシステムと会話することで情報を取得することができます。

SmartFactory Sense：予兆保全・予知保全
収集したデータをAIを使って、故障を予知し、事前の対応を促します。

これらの機能を活用し、工場データを時間軸に集約。集約したデータを活用することで現場の知見をデジタル変革のエンジンへと変革することで「SmartFactory Data Driven DX」を推進します。



サービスの概要・お問い合わせ

ご契約手続き完了から約1ヶ月で、現場の情報を収集し、データを可視化する画面の設定まで実施を想定しています。センサー等の台数や可視化画面の構成により、スケジュールは変動します。

詳細：https://classmethod.jp/services/smart-factory/

IT業界トレンド

総務省「AIのセキュリティ確保のための技術的対策に係るガイドライン」（案）を公表

2026年3月、総務省がAIを開発・提供する事業者向けのセキュリティ対策ガイドラインを公表しました。
AIの普及にともないサイバー攻撃の手口もAI特有のものが増えており、ガイドラインでは具体的な脅威と対策をまとめています。

「AIのセキュリティ確保のための技術的対策に係るガイドライン」（案）：https://www.soumu.go.jp/main_content/001064125.pdf

■想定される脅威と対策

悪意のある指示（プロンプトインジェクション）

- 脅威：AIをだまして、秘密の情報をしゃべらせたり、不正な操作をさせたりする。
- 対策：入出力のチェック機能を入れ、重要な操作には権限制限をかける。

パンクさせる攻撃（DoS攻撃）

- 脅威：複雑な質問を大量に送りつけ、AIを動かなくさせたり、利用料を高額にさせたりする。
- 対策：利用回数に制限（レートリミット）をかける。

学習データへの細工（ポイズニング）

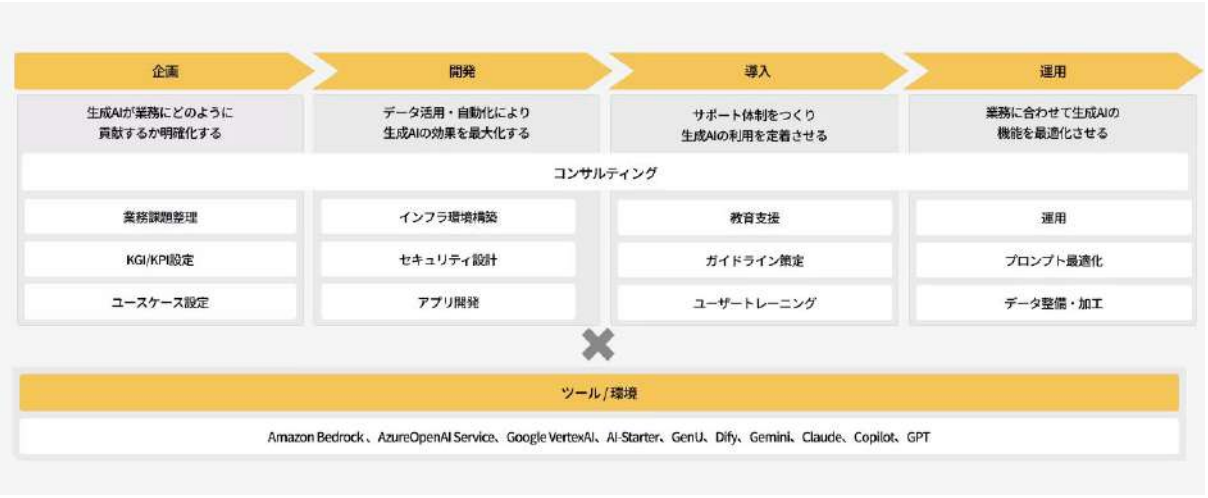
- 脅威：学習データに「毒」を混ぜ、AIにわざと間違った回答や偏った判断をさせる。
- 対策：信頼できるデータだけを使い、学習後の挙動をしっかりテストする。

AIの仕組みを盗む（モデル抽出）

- 脅威：何度も質問してAIの反応を分析し、中身の技術やコピーを作られる。
- 対策：回答の詳しさを制限し、不自然な連続アクセスをブロックする。

AI特有の対策に加え、ログの保存、権限管理、レートリミットといった**「従来の情報システムにおける基本対策」**を徹底することが重要であると述べられています。

■クラスメソッドのAI支援全体像



業務課題の整理から、セキュリティ設計、ガイドライン策定、そして実際の運用支援まで、**お客様の課題やフェーズにあわせ最適な進め方をご提案いたします！**

曖昧なままでも構いません。まずはお気軽にご相談ください。

サービス詳細・お問い合わせ：https://classmethod.jp/services/generative-ai/

IT業界トレンド：経産省「SCS評価制度」の構築方針（案）が公表
～令和8年度末の制度開始に向け、サプライチェーン全体のセキュリティ可視化が加速～

■SCS（Supply Chain Security）評価制度とは？

- 背景と目的
  - 取引先（委託先）の対策状況を外部から判断しにくい課題を解決し、サプライチェーン全体のセキュリティ水準を向上させる制度です。
- 3段階の評価基準（★）
  - ★3：全企業が最低限実装すべき基礎的対策（専門家確認付き自己評価）
  - ★4：標準的に目指すべき包括的な対策（第三者評価）
  - ★5：ベストプラクティスに基づく高度な対策（第三者評価・今後具体化）

構築する評価制度（案）

成熟度の定義	★3	★4	★5 [検討中※4]
想定される脅威	• 広く認知された脆弱性等を悪用する一般的なサイバー攻撃	• 供給停止等によりサプライチェーンに大きな影響をもたらす企業への攻撃 • 機密情報等、情報漏えいにより大きな影響をもたらす資産への攻撃	• 未知の攻撃も含めた、高度なサイバー攻撃
対策の基本的な考え方	全てのサプライチェーン企業が**最低限実装すべきセキュリティ対策**： • 基礎的な組織的対策とシステム防御策を中心に実施	サプライチェーン企業等が**標準的に目指すべきセキュリティ対策**： • 組織ガバナンス・取引先管理、システム防御・検知、インシデント対応等包括的な対策を実施	サプライチェーン企業等が到達点として目指すべき対策： • 国際規格等におけるリスクベースの考え方に基づき、自組織に必要な改善工程を整備、システムに対しては現時点でのベストプラクティスの対策を実施
評価スキーム	**専門家確認付き自己評価**	**第三者評価**	第三者評価

- 今後の予定
  - 2026年度（令和8年度）末頃の制度開始を目指し準備が進められています。

経産省プレスリリース
：https://www.meti.go.jp/press/2025/12/20251226001/20251226001.html

■クラスメソッドが提供する「安心・安全な環境」

本制度で求められる要件（★3・★4等）に対し、弊社サービスで早期の準備が可能です。

- **クラスメソッドメンバーズ「セキュアアカウント」**
  - 最新のベストプラクティスに基づき標準化された安全なAWS環境を提供します。
  - 導入費用は無料で、利用していないリージョンを制限することでセキュリティを強化できます。
- **インシデント自動調査（ビジネス/エンタープライズ限定）**
  - Amazon GuardDutyの検知に基づき、調査結果を日本語で分かりやすく可視化・報告します。
- **セキュリティ・ガバナンス支援**
  - 専任のTAM（テクニカルアカウントマネージャー）が、戦略的なクラウド活用と改善提案を伴走支援します。

- 今後の動向に注目
  - 中小企業向けには「サイバーセキュリティお助け隊サービス」の新類型も創設予定です。

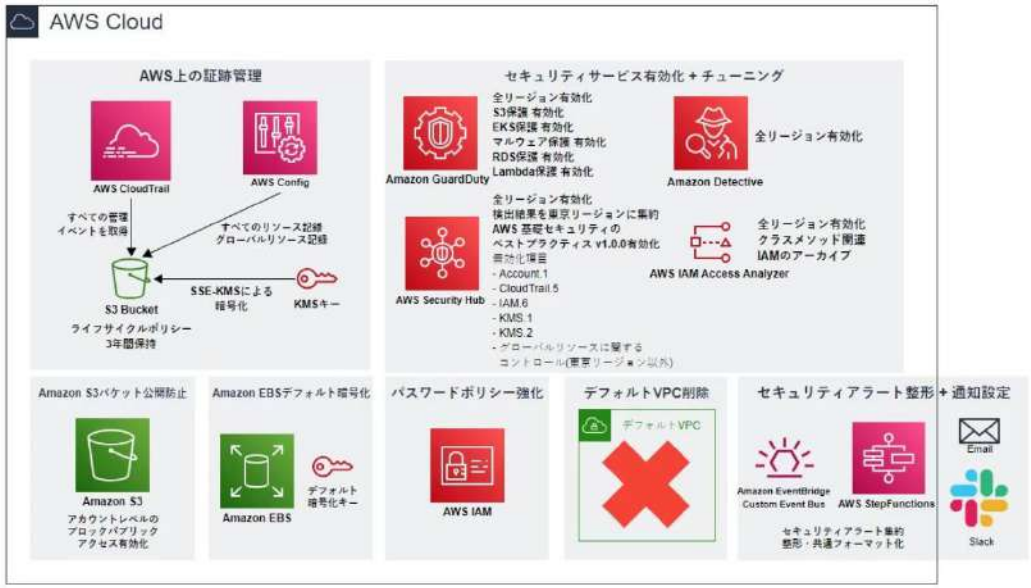
詳細・ご相談はこちら：https://classmethod.jp/inquiry/

セキュアアカウントは3つのサービスレベルすべてで提供可能、
インシデント自動調査はビジネス、エンタープライズレベルから提供が可能です

セキュアアカウントとは？

- クラスメソッドが長年に渡り培ってきたセキュリティベストプラクティスを詰め込んだ「クラスメソッドメンバーズ」のサービス
- 導入費用など、セキュアアカウント自体にかかる費用は無料
  - かかるのは有効化している AWS のサービス利用費のみ
- リージョン制限機能を利用することで、使わないリージョンを制限し、セキュリティ強化とコスト削減が可能

セキュリティ対策にお困りの方はセキュアアカウントを導入し、
AWS のセキュリティベストプラクティス環境を整えましょう！



セキュアアカウントはスタンダード、ビジネス、エンタープライズの全サービスレベルでご利用可能です。
セキュアアカウントを利用したインシデント自動調査は、ビジネス、エンタープライズレベルからご利用いただけます。

サービス		クラウド運用に必要な基本機能 スタンダード	事業に不可欠な環境に充実したサポート ビジネス	専任エンジニアによる手厚いサポート エンタープライズ
セキュリティ・ガバナンス	セキュリティ/ガバナンスガイドライン	✔	✔	✔
	セキュアアカウント	✔	✔	✔
	インシデント自動調査		✔	✔

インシデント自動調査とは？

- Amazon GuardDutyで検知した通知をもとにCloudTrailログの集計・関連性の解決や対象リソースの状態などを調査します。
- 調査結果をわかりやすく可視化した画像と、事前に組み込まれたクラスメソッドのレコメンドと共に日本語でお伝えします。
- インシデント自動調査は無償サービスです。

セミナー・ウェビナー紹介

開催予定のセミナー・ウェビナー

セミナー 一覧

11/6開催



「機能が多すぎてどれを使えばいいかわからない」「結局チャットで質問するだけになっており、
AIを有効に使いこなせていない」そんな課題をお持ちではありませんか？
業務を自動化できるClaude Coworkは、非エンジニアの方でも使い始められる一方で、「Claude Codeと何が違うのか」「どこまで任せられるのか」「社内で安全に使えるのか」といった疑問や不安から、活用に踏み出せないケースも少なくありません。
本セミナーでは、Claude Coworkの「はじめの一歩」から、マネジメント業務での実践デモ、
そして社内で使いこなしていくためのヒントまでをお伝えします。

お申し込みページからご登録をお願いします。

11/12開催



生成AIを導入したもののどう使えばいいか、まだ手探りの公的機関は多いのではないでしょうか。
本ウェビナーでは、AWSが公開している生成AIユースケース集「GenU」を活用し、コストを抑えてAIを試用した厚生労働省と、Amazon Bedrock経由でClaudeを呼び出すサンドボックス環境を作り、AI活用の最前線を体験している仙台市役所に現在の取り組みを伺います。
導入までの経緯や、現場でどんなふうに使われているか、予算や支払いといった公的機関ならではの悩みにどう対応してきたかまで、率直にお話しいただきます。

お申し込みページからご登録をお願いします。

11/26開催



顧客の重要なマーケティング資産である計測データを預かる事業者にとって、ランサムウェアなどによるデータ消失は事業継続を揺るがす重大リスクです。
本セミナーでは、広告効果測定プラットフォーム「アドエビス」を提供する株式会社イルグルム様の事例を通じて、AWSアカウント自体が侵害された場合でも確実にデータを復旧できる仕組みづくりについてご紹介します。あわせて、2025 Japan AWS Top Engineersに選出されたクラスメソッドのエンジニアより、最新のランサムウェア対策のトレンドや実践的な防御アプローチを解説します。

お申し込みページからご登録をお願いします。

詳細はこちら

「AWSトレンドチェック勉強会」を定期的に開催しています

クラスメソッドメンバーズにご加入いただいているお客様向けに「AWSトレンドチェック勉強会」を開催しています。

- 「日々たくさん出るAWSの最新情報とかをブログでキャッチアップして、みんなでトレンディになろう」をテーマに実施している勉強会です。
- クラスメソッドのエンジニアとゆるくコミュニケーションをしながらAWSの最新情報をキャッチアップできる会となっております。



- これまではクラスメソッドメンバーズの**一部のお客様限定となっていましたが、ご契約プランに関係なくご参加いただけるようになりました！**
- ご参加をご希望の場合はお問い合わせください。参加費は無料です。
- 2026年4月分（5月14日開催分）から**Connpass**にて、パブリックイベントとして配信します。

AWS Security Heroesにも選出された
臼田主催の勉強会になります！



詳細は**こちら**

CMパートナーズ

CMパートナーズのご紹介

提供：プロパゲート株式会社（クラスメソッド100%子会社）

業務委託（準委任契約）でフリーランスのITエンジニアをご紹介します！

得意領域：AWS ／ AI ／ インフラ ／ アプリ開発

■CMパートナーズの4つの特長

登録者数 約700名
広告を打たない集客

広告ではなくZennやDevelopersIOなど自社Techメディア中心に集客し、技術感度の高い約700名のエンジニアが登録しています。

エンジニア経験者が
技術面で並走

営業に加えエンジニア経験者が在籍。職務経歴書の確認や要件のすり合わせで、ミスマッチを事前に防ぎます。

最短1週間でアサイン
※基本契約締結済の場合

基本契約を締結済みの場合、ヒアリング・人選・面談から個別契約まで最短1週間（最長2ヶ月）で体制を構築します。

0.2人月・月20hから
小さく始められる

最短1ヶ月からスモールスタート。副業人材による月10〜20時間の継続的な伴走も選べます。

■活用事例

アプリ｜エンタメプラットフォーム

TypeScript / AWS構成でフルスタックエンジニアがAI駆動開発

スキルフルな人材の支援でチーム力も向上

セキュリティ｜レンタル事業

AWS環境の要塞化を優先的に実施

課題を整理し、優先順位づけとリスク評価まで

インフラ(AWS)｜製造業向けSaaS

副業人材（月10〜20h）でIaC化を継続支援

パッチ適用の自動化とCI/CD環境の整備

AI｜通信事業者

生成AIで帳票読取の精度を改善

見積書・修繕計画のデータ整形を支援

※ ご支援事例は、お客様名を伏せて業種のみ記載しています。

【11月】現在ご紹介可能なエンジニア

AWS・インフラ・セキュリティ 3名＋開発・PMO・Web・AI 3名。構築・運用改善からセキュリティ強化までカバーできる体制です

YY｜PMO／品質改善・開発

IT歴 約40年 ／ PMO・品質改善

PM／ML、Java／C#／TypeScript、Spring Boot、PostgreSQL、AWS・Azure、テスト自動化

バックエンド・インフラを得意とする実績豊富なエンジニア。PM/PLとしての推進力に加え、AWSやAzureの知見、DBチューニング・コンテナ化・障害対応まで幅広く対応可能。品質向上・テスト自動化にも強み。

単価　**132万円**／月（1人月・税別）

KI｜インフラ／AWS

インフラ歴 約30年 ／ AWS 8年

AWS（EC2 / RDS / EKS / Bedrock）、Terraform、CloudFormation、Linux、Python

オンプレ→AWS移行支援や、コンテナ基盤（Docker/K8s）、Node.jsバックエンド案件と親和性が高いエンジニア。AWS全般の案件を希望。

単価　**108万円**／月（1人月・税別）

SC｜クラウド／セキュリティ　※1月〜

AWS歴6年以上／GCP歴5年以上／認定19種

AWS、Google Cloud、Azure、Terraform、IAM・PAM、VPC Service Controls、Splunk、Okta、WAF

クラウドの権限・ネットワークの是正が得意。通信キャリア向けGoogle Cloudのセキュリティ是正や、スタートアップの情シス立ち上げ・セキュリティ運用を経験。

単価　**120~125万円**／月（1人月・税別）

YJ｜フルスタック開発

エンジニア歴 16年 ／ Web開発 6年

Ruby on Rails、React（Remix）、Vue.js、MySQL、Elasticsearch、AWS（ECS）、Docker

Ruby on Rails中心のWebアプリ開発、AWS＋Terraformのインフラ構築運用、アジャイルでの要件定義〜実装推進案件など対応可能。

単価　**102万円**／月（1人月・税別）

MT｜AIコンサル／伴走支援

AI×業務改善の伴走型支援 / キャリア約26年

AIを活用した業務改善コンサルティング、AIトレンドリサーチ・PoC評価、PM/PMO、AWS・GCP

業務アプリ開発を起点に、広告・出版・飲食など多彩な業界経験を持ち、直近はAIを使った内製化支援・業務改善などを担当。

時給　**3.5万円〜**／時（月5h〜・税別）

KM｜セキュリティ／PMO

IT歴約17年／セキュリティ製品検証5年

IPS、CASB、AWS、Azure、Entra ID、Intune、Python

オンプレIPSとSaaS型セキュリティ製品の検証・サポートを5年経験。Azure構築、Entra ID・Intuneにも対応。直近はAWS SFTP自動化案件のPMOとして要件定義〜テストを担当。AWS SAA保有。

単価　**80~85万円**／1人月（税別）

※ 単価は各カード記載の稼働量あたり・税別です。稼働開始時期・条件は調整します。詳細なスキルシートは個別にお送りします。

その他サービス

CCoE（Cloud Center of Excellence）総合支援サービス

クラスメソッドマネージドサービスの新たなメニューとして**CCoE総合支援サービス**の提供を開始しました。
CCoEの立ち上げや運営に課題をお持ちのお客様向けに、クラウド戦略の策定から実行まで一貫して伴走します。

こんな課題はありませんか？

- CCoEを立ち上げたいが、何から始めればよいかわからない
- CCoEは動いているが、成果が見えにくい
- セキュリティや統制が強すぎて、事業部門から使いにくいと言われる

サービスの特徴

CCoEチームの「中の人」として実行

- アドバイザリーで終わらせず、チームの一員として実行
- 社内の各所との調整など、泥臭い対応も一緒に実施

戦略から実行までワンストップで提供

- 6つの機能をパッケージ化したオファリングサービス
- 戦略策定から実行・定着まで一貫してサポート

成果が見えるCCoEをつくる

- IT戦略、各部門課題からCCoEの機能・役割を定義
- 成果に紐づいたKGI・KPI設定と定期的な効果測定

サービスの6つの機能



戦略

- 成果に基づくゴール設定
- 組織設計・ロードマップ作成



ガバナンス

- セキュリティポリシー策定
- マルチアカウント戦略



アーキテクチャ

- インフラ設計・実装
- 自動化パイプライン構築



運用

- インシデント対応
- 継続的な最適化



人材育成

- トレーニング実施
- AWS認定資格取得支援



カルチャー変革

- 組織文化の醸成、自走化支援
- ナレッジ共有の仕組み化

無料アセスメント実施中

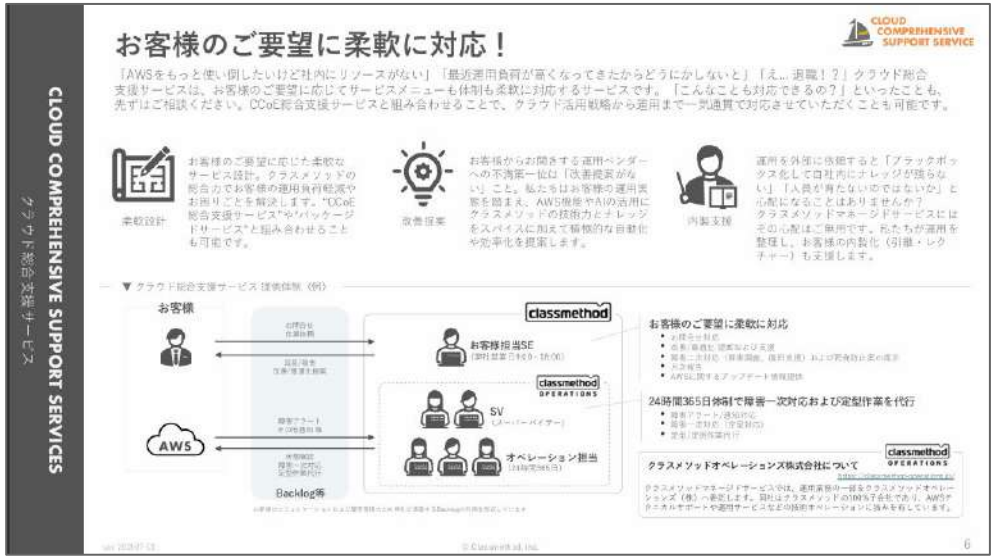
クラウド活用の現状を6つの観点から可視化する**クラウド活用成熟度アセスメント**を無料でご提供中です。「何から改善すればいい？」といった漠然としたお悩みに、分析レポートを通じて次の一歩を見つけるきっかけを提供します。

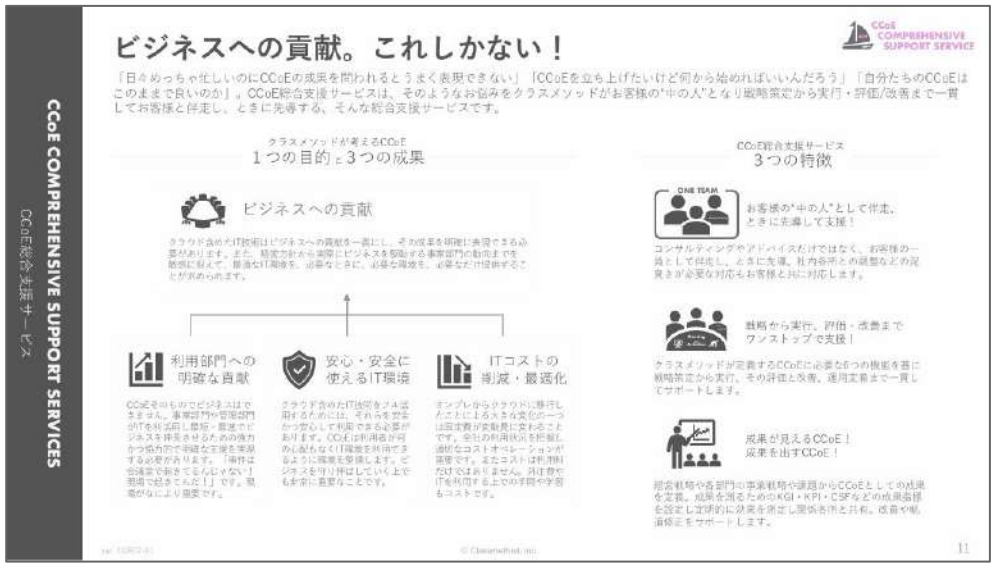
1. **6軸レーダーチャート**
   全体のバランスを可視化
2. **軸ごとの分析コメント**
   推進体制等を踏まえた分析
3. **ネクストアクション**
   「次に何をすべきか」の道筋

「クラスメソッド マネージドサービス」サービス資料をリニューアル公開

前述のCCoE総合支援サービスを含めた、クラスメソッドマネージドサービスのサービス内容を網羅したカタログを公開しました。

- AWS運用をまるごと任せられる「クラウド総合支援サービス」、戦略から伴走する「CCoE総合支援サービス」、リーズナブルな「パッケージドサービス」まで、全体像を1冊にまとめてご紹介。
  大規模環境の統制や運用の実務を強力に支援します。
- [NEW]：AWS DevOps Agentを2週間お試しできる「スターターパック」を新設。既存環境を変更せず低コストで導入検証が可能に。
  障害発生時の調査や対応スピードを大幅に向上できます。
- 簡単な質問に答えるだけでAIがクラウド活用度を診断する「クラウド活用成熟度診断サービス」も無料でご利用いただけます。6つの評価軸から貴社向けのアクションプランを提案。
- ご興味あるサービスがございましたら、お気軽に当社営業担当までお声がけください。





Google Cloud　請求代行サービス

入会・月額手数料0円で、Google Cloud利用費の3%OFF、日本語での無料技術サポート、円建て請求書の発行をご利用いただけます。



Google Cloud利用費 3%OFF

初期費用や月額手数料はすべて無料で、利用費が3%オフになります。



技術サポート 無料提供

クラスメソッドのエンジニアが、日本語でお客様の質問にお答えします。



無償の 円建請求書の発行

ドル建てカード払いではなく、日本円換算した請求書でのお支払いができます。

データ分析分野において最高レベルの技術認定

Google Cloudよりデータ分析分野における「Google Cloud Partner Specialization」の認定を取得しています。
特にGoogle Cloudのビッグデータ プロダクトでのデータ活用に強く、膨大な量のデータから、事業を推進するための実績を持つ企業と認定されました。
（利用プロダクト例: BigQuery、Dataflow、Dataproc、Dataplex、Pub/Sub、Looker）

SPECIALIZATION
Data Analytics
Google Cloud

Google Cloud

セット割引もございます！

AWS総合支援サービス（クラスメソッドメンバーズ）と
併せてご活用いただくと**Google Cloudの利用費の割引率が、通常の3%から5%に。**

AWSの利用費も7%引きに加えて無償で高品質なサポート、セキュリティ設定などのサービスを提供しています。

詳細はこちら

Microsoft Azure　請求代行サービス

入会・月額手数料0円で、Microsoft Azureオンデマンド利用費を割引価格にてご利用いただけます。弊社のAWS請求代行サービスをご利用中のお客様はさらにお得になります。

Microsoft Azure利用費 3%OFF

初期費用や月額手数料はすべて無料で、オンデマンド利用費が3%オフになります。

Microsoftサービスも割引

Microsoft Azure以外のMicrosoftの製品・サービスもお得にご利用いただけます。

円建ての請求書

請求書発行は無償です。円建ての請求書を発行いたします。

AWSとのセット割でさらに利用費がお得に

AWS総合支援サービス（メンバーズ）と併せて活用いただくと、Microsoft Azureオンデマンド利用費の割引率が通常の3%から5%に。AWSの利用費も7%引きに加えて無償で高品質なサポート、セキュリティ設定などのサービスを提供しています。

※ Microsoft Azureのリセールサービスにご加入済みのお客様も適用可能です。
※ 後から適用する場合、割引はご連絡いただいた翌月の利用費分から適用となります。
※ 割引は、ご連絡いただいた翌月の利用日分から適用となります。（例. 2025年7月中にご連絡→8月利用費からセット割引の適用開始）

こんなお悩みはありませんか

- Microsoft Azureを少しでも安く利用したい
- クレジットカード払いから請求書払いに変更したい
- Azure OpenAIを利用してみたい
- GitHub Enterpriseを従量課金で利用したい
- クラスメソッドの請求代行サービスをすでに利用していて、Microsoft Azureでも同様のサービスを受けたい

Microsoft Azure 生成AI活用 導入事例

ポーラ・オルビスホールディングスは、グループ全体の業務効率化と生産性向上を目指し、Azure上に生成AI活用のためのインフラを短期間で構築しました。

RAGを用いた社内マニュアル検索を目的とした生成AIチャットボットを自社開発し、グループ会社でのPoCでも高い効果を実感しています。



アライアンスパートナー製品

クラスメソッドはユーザー企業様の創造活動を支援するために、
さまざまな企業とビジネスパートナー契約を締結し、外部サービスのライセンス販売や導入支援を行っています。
以下は取り扱い製品の一部です。ラインナップ詳細はサービスページをご覧ください。

データ活用	クラウドデータウェアハウス	データ変換	クラウドデータパイプライン	データ準備・分析
	snowflake	dbt	Fivetran	alteryx
セキュリティ	セキュリティ監視・分析	コンテナセキュリティ	クラウドアプリケーション保護	次世代統合型認証基盤サービス
	splunk> a CISCO company	sysdig	CORTEX CLOUD BY PALO ALTO NETWORKS	auth0
DevOps	Observabilityプラットフォーム	Observabilityプラットフォーム	セキュリティプラットフォーム	セキュリティプラットフォーム
	new relic	DATADOG	snyk	CROWDSTRIKE
サービス	コミュニケーション基盤構築	ウェブサービス	カスタマーサービスプラットフォーム	データベース
	twilio	V0	zendesk	TiDB Powered by PingCAP

New Relicの「AWS Marketplace CPPO」プログラムを提供開始

AWS Marketplaceを通じてNew Relicのライセンスを特別価格で提供するCPPOを開始いたしました。
近年、クラウドネイティブなシステム開発において、システムの可視化（オブザーバビリティ）は不可欠な要素となっています。
クラスメソッドはこれまで、AWSの最上位パートナーとして数多くのお客様を支援してまいりましたが、この度、New Relicとの連携をさらに強化しました。

今後もAWSおよびNew Relicとの強力なパートナーシップのもと、技術支援とライセンス提供の両面から、お客様のビジネス成長を支える最適なITインフラ環境を提供してまいります。



本プログラムを通じてNew Relicをご契約いただくことで、
以下のような柔軟な運用が可能となります。

- **AWS利用料との一括請求：**
  New Relicの利用料をAWSの請求に統合でき、支払業務を大幅に効率化できます。
- **EDP（Enterprise Discount Program）の適用：**
  AWS Marketplace経由の購入額が、AWSとのコミットメント（EDP）の消化対象に含まれます。
- **クラスメソッドによるサポート：**
  AWSとNew Relic双方に精通したエンジニアが、豊富な知見を活かして迅速な導入から技術サポートまで一貫して支援し、オブザーバビリティの早期立ち上げと最適化を実現します。
  （※本サポートはCPPO以外のご契約でもご利用いただけます）

AI搭載クラウドコンタクトセンター「Zendesk Contact Center」のご紹介

Zendeskの高度なチケット管理システムと、Amazon Connectのクラウド音声基盤を統合

✓こんなお悩みを解決します！



- メール、電話、チャットなど窓口ごとに使うソフトがバラバラ
- Zendeskで電話対応をしているが、もっと高度な機能を使いたい
- Amazon Connectで電話基盤は整っているが、CRM（顧客管理）と連携できておらず顧客情報が分断されている
- オペレーターの負担軽減や、AIによる自己解決（自己解決率向上）を進めたい

Zendesk Contact Center(ZCC)とは



開発不要で高度なカスタマーサポートツールとクラウド音声基盤シームレスに連携。Zendesk画面上で通話対応が完結する「画面の一元化」を実現し、単体では実現できなかった「 AIによるオペレーター支援」の体験を生み出します。



「両方の専門家」がいるクラスメソッドの一気通貫サポート

AWSとZendesk、双方に深い知見と社内活用実績を持つクラスメソッドだからこそ、高度な統合提案が可能です。「現在Zendeskをお使いの方」「Amazon Connectをお使いの方」「これから新規検討される方」、どの立場からでも最適な仕組みを構築できます。まずはお気軽にご相談ください。


classmethod